

めでいかすとり  
Médicastre



「粟 島」

鶴岡地区医師会

27年 **8**月号

鶴岡地区医療学術懇話会抄録

日時：平成27年7月23日(木) 19:00~20:30  
場所：東京第一ホテル鶴岡『*Helicobacter* 感染診療のトピックス (要旨)』

弘前大学大学院医学研究科

消化器血液内科学講座

准教授 下山 克 先生

2013年にピロリ菌の除菌治療の保険適用が拡大され、すべての感染者に対する除菌が可能となったことを受け、胃がん予防・感染伝播抑制を意識した検診が広まりつつある。具体的には中・高校生を対象としたピロリ菌検診、胃がん検診の対象者である40歳以上に対するABC分類による胃がんリスク検診である。しかし、これらの方法は20-40歳代の感染者をカバーできていない。比較的胃がん予防効果が期待できるこれらの世代でのピロリ菌の検査と除菌が行われるべきである。胃癌の多い地域にある青森県のつがる市、鶴田町では2012年より便中ピロリ菌抗原測定法を応用した郵送によるピロリ菌検診を行っている。2015年4月までに2,472名が便を提出し、367名(14.8%)が陽性であった。感染率は20代前半が6.9%、30代後半では18.7%であり、年齢とともに高くなっていた。便中抗原陽性者のうち273名が内視鏡検査と採血を受けた。便中抗原陽性者の中に血清HP抗体が陰性のものが7.9%存在し、ヘリコバクター学会の注意喚起にもあるように、血清抗体は陽性・陰性だけでなく、抗体価にも注意が必要であると考えられた。「ペプシノーゲン(PG) I < 70ng/mLかつPG I / II < 3.0」で判定すると、20代では18.1%、30代では32.3%で「胃粘膜萎縮あり」であった。若年成人であってもPG法が陽性である場合が少なくなく、除菌成功後も定期的なフォローが必要であることを除菌治療の際に伝えなくてはならない。ま

た、血清PG Iの濃度はピロリ菌未感染者では通常70ng/mLを超えることはない。近い将来発表されるPG濃度の正常値に注意していただきたい。

ピロリ菌除菌の保険適用が拡大されたことにより、この2年間で除菌治療を受ける感染者が増加した。しかしながら、除菌方法が以前と同様であったため、1・2次除菌不成功者の増加が問題となってきた。このほど新しい酸分泌抑制剤であるPCABが発売された。PPIの代わりにPCABを使用することにより、除菌率はかなり向上するとされている。PCAB使用により、除菌不成功者が減少することが期待される。PCAB使用時のピロリ菌診療上の注意点として、尿素呼気試験・迅速ウレアーゼ試験といったウレアーゼ活性を測定する診断法は偽陰性が多くなると考えられるので使用しないこと、PG濃度が非常に高くなるのでABC分類を行わないことが挙げられる。

最近ではピロリ菌以外の*Helicobacter*属の細菌によっても慢性胃炎が発症することが分かってきた。代表的なものが*Helicobacter suis*であり、ピロリ菌感染が陰性のMALTリンパ腫の原因となっている可能性が示されている。本菌の感染頻度は日本では低いようであるが、ウレアーゼ活性が低く、診断は鏡検または分子生物学的手法による。除菌はピロリ菌感染に準じた方法が有効と報告されている。

日時：平成27年7月17日(金) 19：00～  
場所：東京第一ホテル鶴岡

## 「病院勤務医と医師会との懇談会」が開催されました

勤務医委員会委員長 鈴木 聡

今年で9回目を迎えた「病院勤務医と医師会との懇談会」が、鶴岡地区医師会主催で7月17日東京第一ホテル鶴岡にて行われました。参加者は、病院勤務医が荘内病院、協立病院、こころの医療センター、宮原病院、湯田川温泉リハ病院、三川病院、三井病院から合わせて18名とステューデントドクター1名、診療所からは20名で、庄内保健所保健師1名を加え総勢40名となりました。

今回のテーマは、この地区の精神科医療の現状を知ることと県内でも自殺率が高い当地区の自殺対策について考えることです。話題提供は、山形県立こころの医療センター副院長の須貝孝一先生と、庄内保健所地域保健福祉課 精神保健福祉主査の渡曾洋子氏にお願いしました。

須貝先生からは、「鶴岡病院から、山形県立こころの医療センターへ～精神科病院のダウンサイジングと病院移転 老舗公的精神科病院の変革期に勤務して～」と題して約40分の講演がありました。旧鶴岡病院の歴史は、1952年に前身である金峯園のオープンに始まり、64年に鶴岡病院へ、そして今年こころの医療センターに受けつがれました。同院は今も昔も山形県の精神医療を常にリードしてきた存在であること、今回350床から213床に病床数を縮小した意味、こども病棟では「分教室」を併設し、退院後はスムーズに学校に復帰できるようにしたこと、また、東北地方で2番目に設立された医療観察法病棟（重大な罪を犯したが精神障害のため罪が問えない患者の、社会復帰のための入院専門病棟）17床が新設されたこと等、同センターの果たすべき機能や特徴について詳しく説明がありました。常軌を逸した須貝先生の変人ぶり(?)をうかがわせるスライドを随所にはめ込んだご講演は、見るものを決して飽きさせない刺激的な内容でした。伝統を重んじ新しさを追及していく同センターのこれからの精神科医療の展開に期待いたします。

渡曾氏からは、「平成27年度の庄内保健所における自殺予防対策について」約20分のご講演がありました。庄内地域の自殺率は高く、人口10万人あたりの自殺者数は28.4人（平成21-25年の平均）で、山形県全体の25.3人を上回っていること、そのため、自殺者の少ない地域作りを目指して庄内保健所では、1)心のサポーター養成研修、2)職場におけるメンタルヘルス対策、3)ハイリスク者対策、4)自殺予防の普及啓発等、多くの事業を行っていること、職場におけるメンタルヘルス対策活動として、櫛引のケーブルテレビで放映された手作りの啓発ビデオを視聴しながら、とてもわかりやすく解説していただきました。

講演の後は、荘内病院院長の三科武先生の乾杯の音頭でお楽しみの懇親会がスタートしました。病院勤務医、診療所の参加医師双方からそれぞれ壇上で自己紹介が行われました。参加者のスピーチを通して、この地域の抱えるいろいろな問題点が浮き彫りになり、勤務医と診療所の医療者それぞれが市民の要望にしっかりと応えられる環境作りが必要であるとの認識を共有できました。飲み会という和やかな雰囲気の中にも本音を語る事ができた、意義深く実になる懇談会でありました。参加者数は昨年の35名から5名増に過ぎませんが、参加者からは数以上に盛り上がりを見せたよい会であったとの嬉しい感想もいただきました。この会が、顔の見える関係性構築からさらに一歩進んで、互いの信頼感を醸成するための良い機会になれば主催者のこの上ない喜びとするところです。最後は土田兼史先生の中締めのご発声で閉会となり、続きは2次会で、となりました。来年は今年以上に多くの会員の皆様のご参加をお願いします。





## 竹田浩洋先生 旭日双光章受章 まことにおめでとうございます

### 旭日双光章を受章して

この度思いがけなくも、平成27年度春の叙勲において、旭日双光章を授与されるという榮譽に浴しました。5月1日文翔館における伝達式で県知事より拝受し、5月12日家内とともに皇居にも参内して参りました。

私は昭和48年に荘内病院内科に赴任いたしました。石川県の生まれの私は、当地は全くの初めてでありましたが、皆様に温かく迎えられ、住みやすい土地柄と人情に触れて、故郷へ帰った思いでした。とりわけ他の町との大きく違うと思ったことは、病院と医師会が極めて仲が良く、親密な交流があることでした。開業医の先生方から気安く声をかけていただき、種々お付き合いをする中で、自然にいわゆる“顔の見える関係”ができて、病院の診療においても、仕事のやりやすさを感じました。

荘内病院に27年半勤務する間に、鶴岡地区医師会や県医師会の仕事にも参加するようになりましたが、ちょうど定年の年に 国立療養所が鶴岡市に移譲され 鶴岡地区医師会が運営する湯田川温泉リハビリテーション病院として生まれ変わることになりました。当時鶴岡地区医師会の副会長の職にあったという幸運もあって、院長の仕事をお引き受けすることとなり、足かけ13年勤めさせていただきました。

受章して改めてこれまでの40年を振り返ってみますと、私一人で成しえたことはほとんどなく、今回の受章は長年にわたりご指導いただいた方々、陰になり日向になって支えてくださった方々、あるいは現場で黙々と頑張ってくださいました方々など、多くの方々のお蔭です。この場をお借りして関係各位に深く感謝いたします。

ありがとうございました。



## 竹田浩洋先生 旭日双光章受章祝賀会

日時：平成27年7月10日(金) 19：00～

場所：グランド エル・サン クリスタルホール

竹田浩洋先生は、平成27年春の叙勲において、種々主要な役職を通し、長年にわたり地域の保健医療活動にご尽力された功績が認められ、「旭日双光章」を受章されました。

その祝賀会では、当会会員のほか、竹田先生と公私ともに親交の深い総勢120名の方々からご出席いただき、この度の受章を祝福いたしました。



# マイペット&マイホビー

— 第 96回 —

ヘッドスピード(HS)が低下しゴルフクラブを大幅に入れ換えました 宮原病院 外科 宮原 信弘

1949 (S24) 年 1 月 3 日 生まれ 174cm 61kg、手は 21cm、靴はリーガルだと 25cm、スラックスは 82 の 78cm ノータックで 4cm のダブルが理想。ラコステの定番半袖ポロの襟を立て 2 つボタンの下 1 つ止め裾出し派。だらしなくなければコード違反と思いません。ゴルフシューズは絶対白 (茶とのコンビが理想) 靴下は黒 (BS ツアーステージ) 濃いグレーも可です。寒い時は裾を入れラコステの丸首セーター (基本無地) を着脱します。こだわり屋で昔はまめで清潔好きだった為 A 型と言われますが、同じ消化器外科の両親が O 型で 2 つ上の姉共 O 型です。東京医大では体育会ヨット部でしたが、ゴルフは日通東京病院の屋上で特訓されコンペに出された事が始まりです。その後、ショップを紹介されウィルソン等用具一式を揃えました。HS は 44m/s 近くあり一応飛ばし屋でした。団塊世代 3 学年の真中なので 40 歳で帰省してから多くの友人が増えました。最少スコアは湯の浜の 77 (38・39) で初ハンディ 16 が 13 になりました。この数年 7 I が 150Y に全く届かず HS の低下 (38 位、日本人の平均は 40) を自覚し 12 月に年金一時金が入り 38 年のゴルフ歴で大幅なクラブ換えを決心しました。1 月ジープへ 18 万円送金し 1 W はテーラーメイド (T 社) グローレ F (12° R 46 インチ)、7 I ~ PW のセットに AW、A/S、SW を追加

した 7 本はヤマハ (Y 社) UD + 2 を購入普通の HS で 7 I (26° 37.5 インチ) が 180Y で販売 2 位です。3 月の初ラウンド後それ以上の距離を埋める為 4.9 万円を送金しキャロウェイ (C 社) ビッグバーサベータの U 5 (23° R 2、40.0 インチ) と U 6 (25° 39.5 インチ) の UT を購入、春のセッティングが完成。ジープ新橋店は昔私が発見した店で最新人気品でも最低で 3 割引きです。友人の五十嵐敬郎君らに勧めています。皆さんネットで検索を。昨年から残ったのは T 社初代ロケットボールズ (RBZ) 5 W (19°)、プロギア (PRGA) の UT・エッグ 4 + (21°)、バンカー専用の PRGA・R 55 (55° スチール) そして昨年からの収入源のパター T 社のロッサ初代スパイダー (34 インチ) グリップをウインのウルトラビッグライトに変えています。ボールは BS のファイズ・イエローでマジックで線を入れてます。グッズで一番古いのはナイキの軽量スタンドバッグ。9 インチに 14 の枠があり、すぐ青を購入しました。同級生の廣田・鎌田、6 年下の田中君と今春 9 R しました。ベットはオリンピック一番遠いパットが入ると金 4 P、銀、銅、鉄、ノーズロはダイヤモンド 5 P で 3 人から 500 円ずつもらえます。9 R 目で私は 42・47 (OB 1 発、昼の中ジョッキの為?) パー 6 回 16・14 パットで 3 パット 0、1 パット 6 回で大勝でした。皆

様にお勧めはパターグリップのスーパースト  
ローク（ジョーダン・スピースらが使っている  
白いグリップ）の中の太い物。4,000円でパッ  
ト上手になれます。注目はT社のエアロバー  
ナーの5W（¥29,000）RBZより更に飛びそ  
うです。最後に昨年まで使用していたダンロッ  
プ・ゼクシオアイアン（5I～SW）8本セッ  
ト（カーボン・R）いりませんか。1本22,000

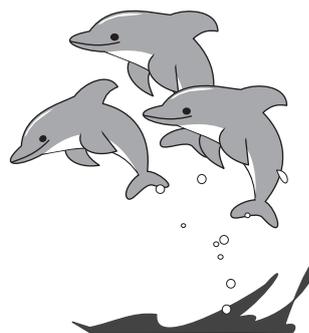
円で購入したもので中高年に固定客が多く（鎌  
田君は13本ゼクシオです）毎年販売1位です。  
無料でも良いですが気が引けるのなら私がSW  
1本買える30,000円でどうですか。お気軽にお  
電話、FAX下さい。私のモットーは「Enjoy  
GOLF with Good Manners」です。皆さんと楽  
しくプレーできる日を楽しみにしています。ゴ  
ルフに興味のない方には長文すみませんでした。



ルーペで見て下さい。左からリーガル・シューズ、アディ  
ダス・ソフトスパイク、パラディーゾ・スパイクレス。  
ファイズ、1W、5W、4UT、5UT、7I、SW、R55、PTです。



物置（シルバーボックス）と愛車ボルボ 850R（96年世界  
限定車）。立ててあるのが1W。  
左は宅急使用の10インチ、黄色はバブル期のルイ・フェ  
ロー、右のスタンドバックが現在のセット。



**故 今野 拓 先生のご冥福をお祈り申し上げます。**

平成27年7月19日ご逝去 満48歳

**弔 辞**

今野拓先生。先生は、梅雨明け間近で例年より暑い日が続いていた7月19日卒然と永眠されました。

あまりにも突然の悲報に、驚愕のあまり、わが耳を疑いました。しかし、何かの間違ひではないか、間違ひであってほしいという願いも、厳然たる事実の前には空しいものでした。

ご家族、ご親戚の方々におかれましても、驚きとお悲しみはいかばかりかと推察し、医師会会員並びに職員一同心からご冥福をお祈り申し上げます。

顧みまして先生の遺影をふり仰ぎますと、先生はこの鶴岡でお生まれになり、平成3年に弘前大学医学部をご卒業後、弘前大学医学部付属病院を始めとして鱒ヶ沢町立病院、青森県立中央病院、弘前大学医学部付属病院、八戸市立八戸市民病院で修練され、平成5年5月から新潟大学医学部付属病院、県立六日町病院、立川総合病院、秋田赤十字病院等を経て、平成14年4月に鶴岡市立荘内病院に内科医長で赴任されました。翌年には循環器科医長、平成23年には診療部副主任医長として、狭心症、心筋梗塞などの心血管疾患に対するカテーテル治療、ペースメーカー埋め込みなど最新の治療法を積極的に取り入れられました。

また、緊急治療を要する急性心筋梗塞などに対しては、24時間体制で緊急検査・治療にあたり、地域医療へ多大な貢献を果たされました。

4年前の東日本大震災においては、いち早く

被災地の宮古市へ荘内病院の災害対策救護班として現地に赴き、被災者救護活動に積極的に取り組まれました。

そして、平成24年、お父上の裕先生が開業されていた地に「みどりまちクリニック」を開業されました。先生の卓越した臨床能力に加え、円満なお人柄を表す、お父様譲りの優しい笑顔もあいまって、患者さんからも信頼され慕われる地域医療の担い手として、大きく花開こうとしておられました。学校医や産業医としてもご活躍されました。

私どもは、先生のことを地域医療の担い手としてだけでなく、将来の医師会を背負う逸材と考え、その将来に大きな期待を寄せていたのです。

このように洋々たる前途が開けていた先生が、30回を迎える温海トライアスロン大会にチームで参加し、得意な水泳を担当してその競技の最中に急逝されることになるとは……天もむごいことをするものと恨まらずには居られません。

拓先生、先生が一番大切にされていた奥様、お嬢様たち、そしてお父様お母様をこれからもずっとお守りください。

先生の面影を偲びつつ、鶴岡地区医師会を代表してお別れの言葉といたします。

今野拓先生、どうぞ安らかにお眠りください。

平成27年7月26日

一般社団法人 鶴岡地区医師会  
会長 三原 一郎



## みずばしょう夏祭り

日時：平成27年7月25日(土) 17：00～  
場所：介護老人保健施設みずばしょう

7月25日(土)、みずばしょうの夏の恒例行事となりました夏祭りを開催いたしました。

前日より降り続いた雨は明け方になってやみ、その後は雨の予報にもかかわらず降られることなく無事に終わることができほっとしております。

今回も多くのご利用者やご家族、地域住民の皆様、会員の先生方や職員の方々からご参加いただきました。今年の夏祭りのテーマは、「結～いままでとこれからを」。10年という節目を迎え、これからも皆様との絆を結んでいきたいと願いを込めて企画しました。

羽黒太鼓こどもクラブの皆様、柏樹会の皆様、念珠関辨天太鼓創成会の皆様からは、迫力ある演奏・踊りを披露していただき、本当にありがとうございました。また、職員による花笠音頭や、太鼓、新人職員による踊りを披露させていただきましたが、練習の成果は出せたのではないのでしょうか。

夏祭りのフィナーレを飾る恒例の打ち上げ花火も皆様に喜んでいただけたことと思います。

来年も多くの方から参加いただき、皆様を楽しめるような夏祭りを企画していきたいと思っていますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

最後に、ご協賛をいただきました皆様、お手伝いに来てくださった皆様に改めて御礼を申し上げます。

総務会計課長 難波 崇



## 新入会員の紹介



氏名：松島 得好  
 生年月日：昭和48年6月23日  
 生まれた所・育った所：神奈川  
 勤務先・診療科目：鶴岡協立リハビリテーション病院・リハビリテーション科  
 出身校：福島医大  
 趣味・特技：旅行  
 鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：よろしくお願ひ致します。



氏名：八木 寛  
 生年月日：昭和54年7月18日  
 生まれた所・育った所：宮城県仙台市  
 勤務先・診療科目：荘内病院 外科  
 出身校：新潟大学  
 趣味・特技：スニーカー収集、水族館

## Introduction

# 研修医

No.6

### 庄内にきて…

鶴岡市立荘内病院研修医 前田 向陽

皆様、初めまして。荘内病院研修医2年目の前田向陽と申します。出身は鹿児島で…、と、自己紹介させて頂くと大体、「おいしい焼酎教えて」「鹿児島弁しゃべってみて」という会話になるのですが、残念ながらどれにもお答えすることができないでいます。これまでで居住期間が一番長かった（6年間）ことと、両親の出身地で先祖の墓もあることから便宜上鹿児島出身と名乗っていますが、親の転勤などで、鹿児島だけでなく沖縄、九州各地、香川、神奈川、東京と転居を繰り返しており、どの土地の文化風俗も良く知らないまま現在に至っています。故郷がある人、地元の友達がいる人、味噌や醤油の種類にこだわりがある人が、とてもうらやましく思います。

今回は人生20回目の住民票異動で鶴岡市にお世話になることになりました。こちらに来て良かったと思うことは多々ありますが、特に素晴らしいと思ったのは四季がハッキリしているところです。夏はしっかり暑くて一面緑色、秋はきれいな紅葉と寂しげな太陽、冬は真っ白で（私にとっては）極寒の世界。でも一番感動したのは冬から春への移り変わりです。冬の“無”の世界から一変、雪が溶けた途端に芽が出て花が咲き色とりどりの世界に一気に変わる様は、私が今まで住んでいた場所では経験できないものです。今年の冬も、来たるべき春の感動を抛り所にして、長い極寒を堪え忍びたいと思います。



## 表 紙

## 「 栗 島 」

佐藤 元昭

鼠ヶ関の夕陽を撮りました。

水平線が左方下で凹凸になっていますが、これは新潟県の栗島の一部です。

## 編 集 後 記

夏真っ盛りとなりました。毎年どんどん暑さが厳しくなり地球全体が熱せられているかの様相です。この夏と冬の熱エネルギーを保存し交互に使えたらどんなにか快適に過ごせるかと、近い将来にその方法が生み出されることを夢見ています。会員の皆様におかれましては十分な水分補給と適度の空調にてお過ごしください。7月には本誌の通り竹田浩洋先生の旭日双光章受章記念祝賀会が開催されました。永年にわたる地域医療に対するご貢献に感謝するとともにこれからも健康に留意され末永くご活躍いただきたいと思ひます。誠におめでとうございました。一方悲しい知らせとして今野拓先生の急逝の知らせがありました。まだまだこれから活躍を期待し地域医療にも貢献して欲しいと願っておりましたが非常に残念に思ひます。夏の海岸での事故は毎年ニュースでは聞きますが2度と起きないように祈らずにはられません。謹んでご冥福をお祈りいたします。

今年度から地域医療構想の策定が始まりました。病床機能による入院病床の必要度と分別、訪問医療を中心とする地域医療のあり方、特に在宅医療の推進が言われております。県の医療計画に加える形で作られるようです。病院だけの問題でなく地域医療全体にわたる将来の医療設計図になるわけですので皆様におかれましても注視して頂きたいと思ひます。また10月より医療事故調査報告制度が始まります。治療上予期せぬ死亡に対して再発予防の方法をとるための制度です。こちらも注意して頂きたいと思ひます。

旧盆が過ぎると日照時間も短くなり何となくもの寂しい感じがしてきます。残暑に負けずしばしの辛抱で食欲の秋を楽しみにしたいと思ひます。

(三科 武)

編集委員：三浦 道治・福原 晶子・三科 武・斎藤 高志・中村 秀幸・伊藤 茂彦

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町 1 - 34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております

鶴岡地区医師会  <http://www.tsuruoka-med.jp>